

山県市立桜尾小学校で防災講座を行いました

令和6年6月19日（水）、山県市立桜尾小学校で4年生13名、5年生13名、6年生9名に防災講座を行いました。学校の近くには鳥羽川が流れており、学校の裏山は土砂災害特別警戒区域に指定されています。

講座では、伊勢湾台風や学校の周りでも浸水被害のあった9.12豪雨災害などを学習しました。また、浸水疑似体験映像で浸水して歩けなくなるシーンを観たことから、「歩行可能な浸水深は？」と質問したところ、子供が歩けなくなる浸水深が浅いことを聞いて「えー！」と驚いていました。

雲や竜巻を作る防災科学実験では、説明の時から盛り上がり、実際にそれぞれ手に取って「家でも作ってみたい」と楽しみながら学んでいました。

講座の最後に代表の児童から、「洪水などが起こったときどう避難したらいいかより詳しく分かり、自分が思っている以上に危険だったので気をつけたいと思いました。」との感想がありました。

今回の講座が、児童たちの防災意識向上に繋がり、水害から大切な命を守ることが出来るようになって頂けることを期待しています。なお、講座の様子は、岐阜新聞に取材頂きました。

